

No.	平成 年	月	定例 臨時 の別	議会の種 別	担当部	担当課	要望事項	答弁内容(要点記述)	説明 ・課題、問題点・今後の方針	処理 状況 済 未済	未済の場合 その処理状況
1	24	3	定例	総務常任 委員会	企画経営部	政策推進 課	行政評価委員会は、事業の必要性等の判断を的確に行うことが求められる。委員の選任は、そのあたりを十分踏まえて行っていただきたい。	委員は、知職経験者、市内の公共的団体等の代表者、公募市民で構成するが、選任については、ご指摘の点も踏まえて慎重に行う。	答弁に同じ。 総務常任委員会の附帯決議でも、「行政評価委員会委員の選任にあたっては、適正、公正性の確保に努めること」とされている。	未済	委員の選任は、ご指摘の点及び附帯決議の内容を踏まえ、平成24年4～6月に行う予定。
2	24	3	定例	予算特別 委員会	企画経営部	財政課	広告収入が西宮市など他市に比べて少ない。本市独自の収入の確保について、所管を明確にして取り組んでもらいたい。	答弁不要(要望のみ。)	行財政改革担当から各市の財源確保のうち、特に広告収入に係る情報をイントラネット(行革フォーラム)を通じて情報提供している。今後も引き続き情報提供するとともに、行財政改革担当からの一括での広告募集を検討する。	未済	平成24年度内に行財政改革担当が一括して募集する仕組みを構築する。
3	24	3	定例	予算特別 委員会	企画経営部	財政課	事務事業評価に協働の視点はあるのか。	現在の事務事業評価では無いに等しいが、事務事業評価表を見直し、協働の視点を入れる。	答弁に同じ。	済	新しい行政評価システムでは対応済み。
4	24	3	定例	予算特別 委員会	企画経営部	財政課	新ごみ処理施設の建設の財源として、基金積み立ての目標はないのか。	平成23年度の3月補正予算において、公共施設等整備保全基金に2億円積み立てた。また、毎年の剰余金の1/4を新築建設のために積み立てたい。	新ごみ処理施設建設のための新基金を設置するのか、公共施設等整備保全基金で内部的に管理していくのか決定する必要がある。	未済	積み立て目標額及び新基金設置が公共施設等整備保全基金で積み立てるのかを決定する必要がある。
5	24	3	定例	総務常任 委員会	企画経営部	財政課	予算決算の時に緊急防災・減災事業と地方税の増税額がわかる資料を作成して欲しい。	資料作成する。	答弁に同じ。	済	
6	24	3	定例	本会議	企画経営部	財政課	長期財政計画を作成すべきである。	他市の先取的な取組の利点、課題なども参考に研究する。	答弁に同じ。	未済	他市の先取的な取組の利点、課題なども参考に研究する。
7	24	3	定例	本会議	市民交流部	市民協働 推進課	職員に研修を行い、地域に向向いて市民と話して肌で感じてほしい。 (1)市民と一緒に活動してほしい。(2)地域も人材不足であり、研修、啓発によりファシリテートできる人材を育ててほしい。(3)地域も資金がないので市民税の1%を地域に交付する制度など検討してほしい。	答弁不要(要望のみ。)	平成24年度策定予定の「協働の指針」での反映の可能性を検討。	未済	協働の指針を受けて実施に向けた検討を行う。
8	24	3	定例	本会議	市民交流部	国民健康 保険課	国民健康保険が広域化となった場合、これまでの市国保の経緯もあることから、国保税額のアップとならないように、また、減免制度の充実にも努めてほしい。	国保の広域化については、詳細が決定していないため、今後も国の動向を注視していく。	答弁に同じ。	未済	今後の国の動向をみて、国への要望を行っていく。また、減免については窓口での丁寧な対応を行い、制度周知に努めていく。
9	24	3	定例	総務常任 委員会	市民交流部	国民健康 保険課	特定健診を受診することが健康管理に繋がり、最終的には健康を維持し、医療費の削減となることから、若い間から健康に関心を持ってもらうことが必要である。ところが現実には、特に若年層の特定健診受診率が20%以下と低いので、受診率向上となることを要望する。	国保の被保険者の中で、事業主健診受診者や人間ドック受診者からの受診結果を提供してもらう方法の検討や休日健診の複数回実施により受診率の向上を図る。	答弁に同じ。	未済	受診結果が送付していただきやすいような方法を今後検討する。休日健診の実施については、春と秋の2回を予定している。

平成24年(2012年)

3月

市議会要望等事項

No.	平成 年	月	定例 臨時 の別	議会の種 別	担当部	担当課	要望事項	答弁内容(要点記述)	説明 ・課題・問題点・今後の方針	処理 状況 未済	未済の場合、その処理状況
10	24	3	定例	文教生活 常任委員 会	市民交流部	国民健康 保険課	国民健康保険運営協議会の答申であり、尊重はするが、市民に対して説明責任を果たさないといけない。また特にアクションプランの達成が確約できる取組みの実行により3年後の収支均衡となることを要望する。(今後、アクションプランに達成しなかった場合には、再度値上げをすることは不可能と思う)	社会保障制度として、国民健康保険制度は所得の低い人の加入率が高く、また、年齢構成も定年退職後の加入率が高いため、歳入が低く、歳出の医療給付費は高いといった構造的欠陥があるので、これまでも国庫負担割合の引上げを要望している。また、すでに市独自の減免制度もあり、法定外繰入も行っているが、累積赤字もあり、また、今後の収支予測でも単年度収支において赤字が予測されていることから値上げを国民健康保険運営協議会に諮問し、得た答申どおりの改正である。	答弁に同じ。	未済	市民への説明として、広報たからづか5月号から7月号に税改正の周知を行う予定。
11	24	3	定例	文教生活 常任委員 会	市民交流部	国民健康 保険課	厳しい取立てをするのではなく、市民に親切丁寧な対応で、相談しやすい体制、納付相談できる状況を要望する。	窓口での親切丁寧な対応に努めるとともに、休日の納税相談に際しては、納付だけでなく減免についても相談できるよう市税収納課職員だけでなく、国民健康保険課職員も協力して実施する。	答弁に同じ。	未済	実施日等詳細は、今後検討する。
12	24	3	定例	予算特別 委員会	市民交流部	国民健康 保険課	国民健康保険税の改正について、「みんなで支えあう」のであれば、更に一般会計からの繰入金金の導入を図っていくことを要望する。	将来予測において、税で見合うべき額として、改正案を作成したもので、一般会計からの繰入の増は考えていない。	答弁に同じ。	済	
13	24	3	定例	本会議	市民交流部	医療助成 課	小学3年生まで医療費無料化の拡充の条例改正を提案されているが、近隣市の三田市では子育てしやすい環境整備を小学6年生まで所得制限なし、負担なしで実施されている。本市も子育てしやすいまちをアピールすることからせめて三田市に近づけるよう拡充すべきである。	本市も安心して子育てできるような環境づくりを目指したいと考えているが、大変厳しい財政状況のため引き続き検討していく。	答弁に同じ。	未済	今後、引き続き検討する。
14	24	3	定例	本会議	市民交流部	医療助成 課	小学3年生まで医療費の無料を拡充されたが、中学3年生まで医療費を無料にして、安心して子育てができるようにすべきである。	中学3年生までの所得制限撤廃による医療費無料化については、本市の財政状況を踏まえると市単独で助成拡充を図ることは大変厳しい状況であるが、安心して子育てできるように医療費助成事業の充実を国・県に対して引き続き働きかけていく。	答弁に同じ。	未済	今後、引き続き検討する。
15	24	3	定例	文教生活 常任委員 会	市民交流部	医療助成 課	難病の方の医療費負担が多いことから、所得制限23万5千円を撤廃して、全て無料にすることで、子どもに優しい、安心して暮らせるまちにすべきである。全ての人に所得制限なしに目を配るべきだ。	他市の状況を見ながら、安心して子育てができるように福祉施策との関連も整理してまいります。	答弁に同じ。	未済	今後、引き続き検討する。
16	24	3	定例	予算特別 委員会	市民交流部	医療助成 課	市民福祉金については、他市では廃止されている中で、平成19年度から手が付けられていない。今後、宝塚市の施策の方向性をどう考えるのか。	市民福祉金の廃止については明言できないが、障がい者の雇用の拡充や他の施策に併せて検討していく。	答弁に同じ。	未済	今後、引き続き検討する。
17	24	3	定例	予算特別 委員会	市民交流部	医療助成 課	後期高齢者の健康診査について、個別健診を増やすように医師会へ勧奨するよう要望する。	答弁不要(要望のみ。)	実施にあたっては、医師会との協議が必要である。	未済	今後、医師会との協議を検討する。
18	24	3	定例	本会議	都市安全部	安全安心 課	防災リーダーの市民へのPRを強化すべきである。	防災リーダーの役割は重要と認識している。	出前講座などを通じてPRをしっかりとっていく。	済	
19	24	3	定例	本会議	都市安全部	安全安心 課	防災リーダーの活躍できる場の提供をすべきである。	防災リーダーには地域防災訓練などの場で活躍してもらう機会を作っていく。	防災リーダーの会などを通じて情報を発信し、活躍できる場を提供する。	済	

No.	平成 年	月	定例 臨時 の別	議会の種 別	担当部	担当課	要望事項	答弁内容(要点記述)	説明 ・課題、問題点・今後の方針	処理 状況 済 未済	未済の場合 その処理状況
20	24	3	定例	予算委員 会	都市安全部	安全安心 課	防災会議の女性委員を増員すべきである。	市防災会議条例で組織を定めているが、女性の視点からの意見反映は重要と認識している。	防災計画の見直しに併せ、防災会議の女性委員が増員できるよう取り組む	未済	防災計画の見直しに併せ、防災会議の女性委員が増員できるよう取り組む
21	24	3	定例	予算委員 会	都市安全部	安全安心 課	急傾斜地崩壊の危険性がある中で、大雨などの緊急時には早急に対応できる体制をお願いする。	水防計画において危険箇所を指定し、雨量等を監視しながら災害時に対応できる水防体制を整えている。	答弁に同じ。	済	
22	24	3	定例	予算委員 会	都市安全部	安全安心 課	災害時には防災ラジオをはじめ多様な手段で市民に確実に、防災情報を伝えていくべきである。	現在、防災ラジオ、エリアメール、安心メールなどを活用して情報の発信に努めている。今後とも防災情報発信の充実強化に努める。	答弁に同じ。	済	
23	24	3	定例	予算特別 委員会	都市安全部	道路政策 課	バス交通の武庫川新橋線は、復活が期待される路線であるが、市は、地域に積極的に働きかけ、実現に向けて努力すべきである。	運行ルートや時間帯等十分に地域と話し合いながら採算性を確保したい。しかし、なおも資金を投入する必要がある場合、市としてその対応を検討する。地域への話し合いは、平成24年度から開始する。	答弁に同じ。	未済	平成24年4月から地域と協議を始める。
24	24	3	定例	予算特別 委員会	都市安全部	道路建設 課	ロックペイント横の市道1404号線を県で進めている尼崎宝塚線整備と歩調をあわせて整備するべきである。	尼崎宝塚線整備に係り、ロックペイントとは用地買収、移転協議を平成24年度にかけて進めている。平成24年度予算には計上していないが、市道整備についても協議を行い、整備できるよう努めていきたい。	答弁に同じ。	未済	平成25年度に道路調査費等を予算計上する予定。
25	24	3	定例	予算特別 委員会	都市整備部	住まい政策 課	市営住宅の畳の表替えは、入居者が低所得者である事を考慮して市負担で欲しい。	畳の表替えについては、入居のしおりに入居者負担とする旨記載している。また、条例上も第32条にも入居者負担としているところで、今後も入居者負担とする。	答弁に同じ	済	
26	24	3	定例	予算特別 委員会	都市整備部	建築営繕 課	保全計画書の作成対象施設の200㎡以上という規模要件を見直すべきである。	規模要件を見直し、対象施設を検討する。	答弁に同じ。	未済	主に市民が利用する100㎡以上で、保全計画書の作成が必要な施設を選定し、平成24年度から順次作成する。
27	24	3	定例	予算特別 委員会	健康福祉部	健康推進 課	高齢者肺炎球菌ワクチンの一部助成について、条件を緩和して対象者を拡大すべきである。	対象者の疾患の重篤度を考慮して、特定の疾患により1～4級の身体障害者手帳を有する70歳以上の市民に高齢者肺炎球菌ワクチンの接種に対して一部助成を開始する。平成24年度から開始するが、次年度以降拡大の方向で進める。	答弁内容に沿って、助成対象要件について検討する。なお、国においては当該ワクチンの定期接種化を検討しており、その動向を注視する必要がある。	未済	国の動向も踏まえて検討する。
28	24	3	定例	予算特別 委員会	健康福祉部	障害福祉 課	医療型短期入所事業の実施について、障がい者団体に所属しない障がい者の方も含めて、広報をきちんと行ってほしい。	答弁不要(要望のみ)。	受入医療機関との協定書の締結、連携体制の早期確立が必要である。	未済	市の広報やホームページ等で制度を周知する。
29	24	3	定例	予算特別 委員会	健康福祉部	障害福祉 課	新年度に(仮称)宝塚市権利擁護支援センターを設置することであるが、市役所本庁内においても、どこへ権利擁護の相談に行けばよいか、連携体制をきちんと取ってほしい。	(仮称)宝塚市権利擁護支援センターの設置に合わせて、本市の関係課及び市内の相談窓口との連携体制を整備していく。	(仮称)宝塚市権利擁護支援センターの設置に合わせて、本市の関係課及び市内の相談窓口との連携体制を整備していく。	未済	平成24年度内のなるべく早い時期に連携体制を整備する。
30	24	3	定例	予算特別 委員会	健康福祉部	障害福祉 課	シンシア広場の整備について、阪急宝塚駅南の交通広場は、すでに一定のコンセプトにより整備されており、設置場所を再検討すべきである。	今後、補助犬関係者や市内の関係団体の参画による実行委員会を設け、募金を募り、御意見やアイデアをいただきながら整備に取り組む。	今後、補助犬関係者や市内の関係団体の参画による実行委員会を設け、募金を募り、御意見やアイデアをいただきながら整備に取り組む。	未済	平成24年度内に整備する。

平成24年(2012年)

3月

市議会要望等事項

No.	平成 年	月	定例 臨時 の別	議会の種 別	担当部	担当課	要望事項	答弁内容(要点記述)	説明 ・課題・問題点・今後の方針	処理 状況 済 未済	未済の場合 その処理状況
31	24	3	定例	予算特別 委員会	健康福祉部	障害福祉 課	シンシア広場の整備について、募金を募るなど、広く市民からの整備の機運の醸成を図るべきである。	今後、補助犬関係者や市内の関係団体の参画による実行委員会を設け、募金を募り、御意見やアイデアをいただきながら整備に取り組む。	今後、補助犬関係者や市内の関係団体の参画による実行委員会を設け、募金を募り、御意見やアイデアをいただきながら整備に取り組む。	未済	平成24年度内に整備する。
32	24	3	定例	予算特別 委員会	子ども未来 部	子ども政策 課	子ども委員会の運営について、子ども議会との関係と子ども委員から出された意見書を市政へ反映出来るのか。	子ども議会は、子どもが社会の一員であるとの認識のもと、子どもと共にまちづくりを行う視点に立って意見を市政に反映するという趣旨・目的で、子ども委員会も同じである。子ども議会は夏休みを利用して、学習会でまとめた意見を議会で表明しているが、子ども委員会は半年間ほどかけて、子ども委員が決めたテーマについてグループで研究や市職員との意見交換、施設見学を経て意見書を提出してもらう。意見書の内容については出来るだけ市政に反映するよう努めていく。	提出された子どもの意見については、真摯に受け止め、それぞれの意見について子どもたちの思いをまちづくりに生かせるように市内部で十分検討する。	未済	提出された子どもの意見については、真摯に受け止め、それぞれの意見について子どもたちの思いをまちづくりに生かせるように市内部で十分検討する。
33	24	3	定例	予算特別 委員会	子ども未来 部	子育て支 援課	児童虐待の発生予防や早期発見、深刻化防止のためには関係機関の連携が必要である。体制を整えることを要望する。	児童虐待の発生件数は増加傾向にあり、体制強化を図る必要がある。県の児童虐待防止緊急強化事業を活用して、平成24年6月から家庭相談員1名を雇用する予定である。	答弁に同じ。	未済	家庭相談員1名を平成24年6月に雇用予定。
34	24	3	定例	予算特別 委員会	子ども未来 部	子ども家庭 支援セン ター	「たからばこ」の多言語版を作成して欲しい。	外国人の親子が本市でより暮らしやすくしていくために、必要性は感じている。翻訳する言語や提供する情報の精査及び費用負担など、宝塚市国際交流協会と協力して取り組む。	答弁に同じ。	未済	宝塚市国際交流協会に協力を働きかけたところ、翻訳については協会が負担するとの回答を得ている。今後、多言語版の作成に向けて、内容の抽出、冊子の印刷などを検討していく予定。
35	24	3	定例	予算特別 委員会	子ども未来 部	青少年課	本市の地域児童育成会のサービスは高いと考えるが、財政状況の厳しい現状があるため、現在の育成会のサービスは維持しながら、費用対効果を考え、研修を含め指導員等の勤務時間の見直しを行い、人件費を抑制すべきである。	本市の地域児童育成会は、指導員の資質向上に向け、育成会の運営上必要な知識や事例研究などの研修や、実践的な児童の安全対策についての研修、及び防災防犯訓練を実施するなどに取り組んでおり、必要なものと考えている。	指導員研修は、地域児童育成会全体の資質向上に不可欠と考えるが、一方、行財政改革推進委員会から、育成会の運営は直営を軸とする中で、勤務時間の見直し等の提言をいただいており、児童の保育時間のもとより、指導員研修及び保護者や地域との懇談や育成会に付随する事務に要する時間など、育成会の勤務時間全般について検証し、より適正な指導員の勤務時間のあり方について検討する。	未済	指導員研修は、地域児童育成会全体の資質向上に不可欠と考えるが、一方、行財政改革推進委員会から、育成会の運営は直営を軸とする中で、勤務時間の見直し等の提言をいただいており、児童の保育時間のもとより、指導員研修及び保護者や地域との懇談や育成会に付随する事務に要する時間など、育成会の勤務時間全般について検証し、より適正な指導員の勤務時間のあり方について検討する。
36	24	3	定例	本会議	環境部	環境政策 課	太陽光発電設備に設置補助金を。	太陽光発電システムの補助金は、利用者が限定されてしまう側面があることから、市民の関心を高め、より多くの市民が参画できる仕組みづくりを早急に検討する。	平成24年度から、新エネルギー推進課で、どの種のエネルギーをどのように推進するのか、検討する。	未済	平成24年度から、新エネルギー推進課で、どの種のエネルギーをどのように推進するのか、検討する。
37	24	3	定例	予算特別	環境部	環境政策 課	太陽光発電設備に補助金はしないということだが、新エネルギー推進課を設置して、市の方向性を出したことは評価する。今後、国や県の動向を注視し、対応できるようにしてほしい。新エネルギービジョンの策定を。	本市の新エネルギーの賦存量や利用可能なエネルギーの調査・研究を踏まえ、新エネルギーのビジョンを策定する。	平成24年度の課題として、本市の新エネルギーの賦存量や利用可能なエネルギーの調査・研究を踏まえ、新エネルギーのビジョンを策定する。	未済	平成24年度の課題として、本市の新エネルギーの賦存量や利用可能なエネルギーの調査・研究を踏まえ、新エネルギーのビジョンを策定する。

No.	平成 年	月	定例 臨時 の別	議会の種 別	担当部	担当課	要望事項	答弁内容(要点記述)	説明 ・課題・問題点・今後の方針	処理 状況 済 未済	未済の場合 その処理状況
38	24	3	定例	本会議	産業文化部	観光企画課	(仮称)宝塚サービスエリアにおける地元の取組に対する支援をすべきである。	答弁不要(要望のみ。)	(仮称)宝塚サービスエリア及びスマートインター活用研究会を継続し、情報交換をはじめ、それぞれの分野での取組を推進していく。	未済	(仮称)宝塚サービスエリア及びスマートインター活用研究会を平成24年度も継続し、情報交換、意見交換をはじめ、農業、商業、観光業のそれぞれの分野での取組を推進していく。
39	24	3	定例	予算特別委員会	産業文化部	観光企画課	(仮称)宝塚サービスエリアが市の活性化につながるよう取組体制を充実すべきである。	庁内の連携を図りつつ、県や事業者と連携しながら取り組む。	(仮称)宝塚サービスエリア及びスマートインター活用研究会において、県の参画を充実する予定。	未済	(仮称)宝塚サービスエリア及びスマートインター活用研究会において、県の参画を充実する予定。
40	24	3	定例	予算特別委員会	管理部	学事課	本市の学校の現状は、児童・生徒数の多い学校、減少している学校の格差が大きい。この対策についてはスピード感をもって対応していただきたい。	本市の教育環境の現状、課題、あり方等について、俯瞰的な意見をいただくべく「宝塚市教育環境のあり方協議会」を設置した。近々、同協議会から意見集約をいただくこととしており、その意見を参考に市の方針を決定し、課題について対応していく。	答弁に同じ。	未済	本市の教育環境の現状、課題、あり方等について、俯瞰的な意見をいただくべく「宝塚市教育環境のあり方協議会」を設置した。近々、同協議会から意見集約をいただくこととしており、その意見を参考に市の方針を決定し、課題について対応していく。
41	24	3	定例	予算特別委員会	管理部	学事課	自校炊飯の完全実施と合わせ、光熱水費の徴収についての検討をすべきではないか。	自校炊飯の実施に伴い、委託炊飯費が不要となるが、この効果については基本的には献立の充実にあてることとするが、一部を光熱水費として徴収することも検討する。 なお、学校給食会理事会等を通じ、保護者の理解を得る必要がある。	答弁に同じ。	未済	自校炊飯の実施に伴い、委託炊飯費が不要となるが、この効果については基本的には献立の充実にあてることとするが、一部を光熱水費として徴収することも検討する。
42	24	3	定例	予算特別委員会	管理部	学事課	給食費会計の公会計化の検討を早急に行うべきである。	近隣の三田市では平成24年度から、西宮市では平成25年度から学校給食費会計の公会計化を導入する情報を得ている。先行市での事例について研究し、本市での導入についても早急に検討していく。	答弁に同じ。	未済	先行市での事例について研究し、本市での導入についても早急に検討していく。
43	24	3	定例	予算特別委員会	社会教育部	社会教育課 中央公民館	耐震診断結果については、公民館運営審議会や利用者に向けて、理解しやすい形でお知らせして欲しい。 現在地での建替えは無理なので、水道局を含めてN・TN跡地の利用をすべきでは、機会を逃すと進められないので決断を。	中央公民館の耐震対策については、市有公共建築物の耐震対策の中で、建替えや移転、在り方について個別検討している。一定の方向が決まったら、市民にお知らせできるようにしていきたい。	答弁に同じ。	未済	平成25年度上半期までに協議検討する。
44	24	3	定例	予算特別委員会	社会教育部	社会教育課	文化遺産を活かした観光振興事業について、他市では実施している、なぜ本市ではできないのか。	阪神間の状況等を確認し、研究する。	答弁に同じ。	未済	平成25年度上半期までに検討する。

